

お知らせ

私は十数年に及ぶ受刑生活の中で、常に支援を受けていました。そのおかげで今も自由の身であるのですが、私のように家族とも知人ともつながりを持てる人は実に稀で、多くの受刑者は社会で孤立し、塙の中でも孤立したままであることが多い。孤立から生まれる疎外感や人の心をむしばみ、時に事件をも引き起こさせることがあるのではないのでしょうか。

ではどうすれば改善できるのでしょうか？私は特に「外部交通」と呼ばれる面会と文通が必要だと思います。この二つの手段が受刑者を社会とつなぎ、再び社会の一員としてやり直せるように働きかけることができると思う。だれが言い出したのはわかりませんが、「反省は一人でもできるが、更生は一人ではできません」という言葉があります。私もその通りだと思っています。

しかし、面会も文通も受刑者とは一対一のやりとりを前提としている。それを行うには大変なエネルギーが必要で、金銭面でも精神面でも負担を強いるものである。そこまではできないものの、受刑者の更生支援に少しでも協力したい方もいます。一人の力では小さくても、大勢が協力すれば大きい力になり、社会により貢献できると思います。

その方法の一つとして考え出したのは受刑者向けの書籍提供である。受刑中でも書籍の購入は許される。しかしほかの日用品と同様、原価が基本で、とても高いのです。強制される刑務作業でもらえる報奨金が最安では月で500円程度なのに、ASKULでは10円で売っているようなボールペンが刑務所は独占的に150円で売りつけている。刑務所で売っているものではないと使わせないのは日本の刑務所のやり方で、いまはアメリカ資本のサービサーという会社が独占しています。この搾取の構図を崩す意味合いも含めて、廉価で受刑者に書籍を提供し、更生の助けになればと考えています。

具体的には有志には資金と本を提供していただき、これをもとに図書館の運営を行います。いま巷ではブックオフをはじめ、多くの古本屋が買取りをしています。買取り価額はとても安く、原価の2%前後であることが多い。売るのに時間もかかります。そこで多くの家庭ではごみとして大量の本が廃棄している。これはもったいないことです。モノが溢れている日本ではあるが、刑務所では本を読みたくても買えない人が大勢います。廃棄予定の本を当方に送っていただければ、その本を必要としている受刑者のもとに責任をもって送ります。古本で更生を支援し、社会貢献します。

古本の送料は自己負担をお願いします。近郊プラス大量の場合は当方より車両を用意して引き取りに参ります。

提供された本は再販できるものに関しては古本屋に売り、その代金は受刑者に本を送る際の送料と当プロジェクトの運営費に充てます。

本のジャンルなどは問いません。蔵書印や書き込みがあってもかまいません。きちんと処理したうえで、在庫リストを作り、希望している受刑者のもとに送り、選んでいただき、送付いたします。

2015年8月末現在までは、わたし汪が自宅の一室のほか、パソコン2台とデジカメ1台、本棚、事務机を提供します。横浜市にあるケベック・カリタス女子修道女会からはカラーコピー機1台とインクが提供されました。また同会の井手シスターからは50冊の初版本が提供されました。渋谷にあるバー「クロスロード」の岩瀬照雄さんからは約800冊の本の提供がありました。本の入手・管理などの作業は精神疾患を抱える女性二人とホームレスが担当しています。肝心の資金はまだゼロ円の状態ですが、善は急げと見切り発車しました。どうか皆様のご賛同とともに、資金と書籍の寄付をお願い申し上げます。

お問い合わせ先

メールアドレス wangnan19862014@gmail.com

汪（わん）

(受刑中の皆様へ)

暑い夏も過ぎ、やっと過ごしやすい季節になりました。断熱材なしのコンクリートの建物に長年暮らしてきた者としては、本当に皆様の健康を案じるとともに、いずれは殺して食用にする豚や牛の小屋だって温度管理されているのに、という憤りを感じます。

さて、このたびは受刑中の皆様に本を送る活動を始めましたので、ご協力をお願いしたい。運用資金の寄付が最もありがたいのですが、受刑されている間はほとんどが無収入であるという事実を知るものとしては、そんなことをお願いするわけにはいきません。現実的にお願いしたいことをまとめました。

★ ご不要な本は当方に宅下げしてください。有効に再利用します。

(ただし、郵送料は自己負担でお願いします。なお、東京拘置所と千葉刑務所は窓口宅下げも可能です。)

★ 古本の購入は当方にお任せください。手数料は代金と送料の30%です。アマゾンなどでは代金が1円の本がたくさんあり、送料は257円がほとんどです。この場合の総額は $(1+257) \times 1.3 = 335$ 円になります。

★ 今はネット社会です。気になることがありましたら、当方が代わりにネット上で検索し、あなたのモヤモヤを解消します。学習したいものの詳細を知りたい、気になるメガネのラインナップ、昔住んでいた町の現状、好きな作家の著作リスト、といったものを調べ、印刷して、あなたのもとに送ります。

インターネット検索サービス

このような支援活動は過去に多くの団体及び個人が行ってきました。しかしほとんどが財政難で中止したと思われる。そこでこの活動資金の捻出のため、受刑者向けにインターネット検索サービスを始めることにしました。手紙やはがきで検索ワードを当方に送り、検索結果を印刷して送り返します。料金は初回のみ登録料500円が必要。検索結果はA4用紙に印刷し、一枚の料金は15円とします。送料は5枚までは(定形)82円。9枚までは(定形)92円。18枚までは(定形外)140円。27枚までは(定形外)205円。すべての料金は現金のほか、切手でも受け付けます。その際は一割増しとします。

送料早見表

	～5枚	～9枚	～18枚	～27枚	登録料
現金	82円(定形)	92円(定形)	140円(定形外)	205円(定形外)	500円

以上の活動は多くの方のご賛同を得て、始めたものであり、心からお礼を申し上げます。

受刑者に本を送ることで、受刑生活を有意義に過ごしていただくという目的だけではなく、この活動自体が元受刑者である私と精神疾患を抱える方たちによって運営され、少しでも他者に役立つことで自己肯定に繋がります。活動を通じて双方の更生支援をもたらすものと信じます。

またこの活動の運営自体は独立したものであり、いかなる団体とも関係ありません。すべては私の自己責任のもとで始めた活動であることをここに明言します。どうかご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

